

2012年11月20日

報道各位

住友金属鉱山株式会社
三井物産株式会社

タガニート・ニッケルプロジェクトの投資額見直しについて

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、社長：家守伸正 以下「住友金属鉱山」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区 社長：飯島彰己 以下「三井物産」）は、出資先である Taganito HPAL Nickel Corporation（本社：フィリピン共和国マカティ市、社長：藤村隆則 以下「THPAL」）がフィリピン共和国において推進しているタガニート・ニッケルプロジェクト（以下「本プロジェクト」。プロジェクトの概要については添付資料参照）の投資額について見直しを行った結果、当初予定の 1,300 百万米ドルから約 1,590 百万米ドルに増加する見込みとなりました。

本プロジェクトにつきましては、2011 年 10 月にプラント建設現場が武装勢力の襲撃を受け、建設中の設備が破損するなどの被害を受けました。このため、被害設備の補修を行ったほか、従業員、建設作業員等プロジェクト関係者の安全を確保するための諸対策を実施しました。これらに要する費用に加えて、資材物価の上昇の影響、建設工事内容の詳細仕様の変更などにより、投資額は 150 百万米ドル増加いたします。さらに、2009 年 9 月本プロジェクト開始後、急速に進展したドル安の影響によって、米ドル建て以外で決済される建設費について為替差が増加しており、この為替による影響額約 140 百万ドルを加えると、投資額は約 1,590 百万米ドルとなる見込みです。

なお、襲撃後安全確認のため工事を一時中断したことから工期に若干の影響を受けましたが、その後工事は順調に進捗しており、本プロジェクトの立ち上げ時期は 2013 年秋を予定しています。

（本件に関する問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

広報 IR 部 高橋 雅史

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215

三井物産株式会社

広報部 報道室 岡本 典子

TEL：03-3285-6645

FAX：03-3285-9819

<添付資料>

タガニート・ニッケルプロジェクト (Taganito Nickel Project) について

1. ロケーション

フィリピン共和国ミンダナオ島北部タガニート地区

2. 生產品および生産量

HPAL (高圧硫酸浸出法) により、低品位酸化鉄から、ニッケル製錬の中間製品であるニッケル・コバルト混合硫化物 (Nickel/Cobalt Mixed Sulfide=MS) を年間約 5 万トン (ニッケル量で 30,000 トン、コバルト量で約 2,600 トン)、30 年間にわたり生産する。

3. 原料

タガニート鉄山および周辺鉄山の低品位ニッケル酸化鉄 (Limonite) を原料とする。

4. 生產品の用途

生産される MS は全量住友金属鉄山が購入し、住友金属鉄山のニッケル工場 (愛媛県新居浜市) において、電気ニッケルおよびコバルト生産の原料として使用する。

5. プロジェクトのスケジュール

2009 年 9 月 住友金属鉄山がプロジェクトの実施を決定。Nickel Asia Corporation (以下、「NAC」という。) と共同推進を基本合意。

2010 年 3 月 建設工事開始

2010 年 9 月 住友金属鉄山、NAC、三井物産間にて、プロジェクト株主間契約締結

2013 年秋 商業生産開始 (予定)

6. Taganito HPAL Nickel Corporation (THPAL) 概要

本社所在地 フィリピン共和国マカティ市

代表者 社長 藤村隆則

設立 2008 年

資本金 4,095 百万フィリピンペソ

出資比率 住友金属鉄山 : 62.5%、NAC : 22.5%、三井物産 : 15.0%

事業内容 タガニート・ニッケルプロジェクトの推進

以上